

from the world
世界の国から

ペルー共和国

Republic of Peru



ロサリオ・イケダ氏

ペルー民間投資促進庁
上級アナリスト

Ms. Rosario Ikeda

Senior Analyst

Private Investment Promotion
Agency of Peru (ProInversion)

首都 リマ
面積 約129万平方キロメートル(日本の約3.4倍)
人口 2,850万人(2008年 世銀)
政体 立憲共和制
元首 アラン・ガルシア・ベレス大統領
言語 スペイン語(他にケチュア語、
アイマラ語)
通貨 ニューソール



限りない魅力を秘めた多様性に富む国

南アメリカ屈指の資源大国

南アメリカ西部に位置するペルーは、多様性に富んだ美しい国です。マチュピチュ、クスコ、ナスカなど日本でもおなじみの観光資源だけでなく、鉱物、農水産物、木材、繊維原料を始めとするさまざまな資源に恵まれています。

来日は今回が2度目でしたが、仕事での滞在は初めてです。滞在中、日本各地を訪れ、企業関係者と40近い会合を持ちましたが、祖父母の祖国で過ごした3週間は大変有意義なものとなりました。

多種多様な産業への投資を期待

ペルーの鉱業は、世界一の生産量である銀をはじめ、金、銅、鉛、亜鉛、錫などは世界屈指の埋蔵量と生産量を誇っています。特に銅は、開発中の鉱山が多数あり、今後7年間で生産量が現在の3倍に増加すると予想されています。また、最近

レアアースやリン鉱石にも注目が集まっています。ペルーの鉱物資源はこれまで埋蔵量の20%ほどしか調査が進んでおらず、今後さらなる開発が期待されています。

農水産物を生産・加工して輸出することにも力を入れています。サトウキビ、アスパラガス、パプリカ、マンゴー、ライム、オリーブオイルのほか、有機栽培のココアやコーヒー、ペルー固有の植物等をベースにした健康食品などが伸びています。また、3000キロメートルにおよぶ海岸線を利用した漁業も盛んで、マグロ、アンチョビ、魚油、魚粉などが世界各国に輸出されています。

繊維産業では高品質のピーマ綿やビクーニャ、アルパカなどが取引されています。林業も有望な分野です。天然の森林面積はラテンアメリカ第二位で、良質で安価な木材が生産されています。持続的な発展のために、植林にも積極的に取り組んでいます。

充実した投資保護・促進策

民間投資を促進するために法制安定化協約という制度があります。これは投資家が国と協約を結ぶと、締結時に有効な所得税率、労働制度、輸出振興制度が10年間(コンセッションでは契

約期間中)保証される制度です。また、国内に4か所ある輸出加工区や、アマゾン地域、海拔2500メートル以上の高地での事業には各種税金の減免制度が設けられています。

インフラの整備も着々と進んでいます。通信インフラにはすでに海外3社が参入し、ビジネスに十分な環境が整っています。港は南米の太平洋岸で最大のカヤオ港のほかに、南部のサンファン・デ・マルコーナに大きな港を建設予定です。水力発電所と天然ガスパイプラインの建設計画も進行中です。

EPA締結でより緊密な関係を

ペルーには約10万人の日系人コミュニティがあり、リマには日本人学校もあります。食材が豊富で、グルメの国としても知られています。また、気候も良く、とても暮らしやすい国です。日本とペルーは2010年11月に経済連携協定(EPA)締結に基本合意しました。今後両国の経済関係はますます緊密になることと思われます。インフラ整備からニッチ市場までさまざまな投資機会があるペルーへの日本企業の進出を期待しています。



高品質を誇る繊維産業
(写真提供:Creditex)



マチュピチュ(写真提供:園田 豪)



埋蔵量の豊富な鉱山(写真提供:SNMPE)